

奈弓連だより

通巻 219号

令和2年5月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 西中 正
編集担当 松澤和実 山本悦子
連絡先: henshu@narakyudo.jp

奈良県弓道連盟評議員会議決事項について

5月15日現在の状況報告

新型コロナウイルス感染症の感染者数拡大の影響で、4月7日に国から緊急事態宣言が7府県を対象に発令され、それを受け、対象ではない奈良県内の各施設においても使用制限が掛かり、突如弓道場等の閉館措置を取った市町村もありました。

そんな状況の中、4月12日に臨時理事会を開催、その後に予定していた評議員会は開催を中止し、書面表決の形をとることとなりました。

議案は以下の5つ

- 第1号議案 令和元年度決算報告
- 第2号議案 令和2年度事業計画(案)
- 第3号議案 令和2年度予算(案)
- 第4号議案 規約改正(案)
- 第5号議案 行事予定の変更に関する調整の委任

※第1号議案は令和元年度事業報告に基づく決算報告と監査報告

- 第2号議案は4月12日現在の事業計画案
- 第3号議案は第2号議案の事業計画案に基づく予算案
- 第4号議案は支部再編成に伴う規約改正
- 第5号議案は急な事業計画の変更などに際し、柔軟に対応出来る体制づくり

簡単に説明しますと、以上になります。

評議員39名より回答書の提出(30名分)をいただき全議案が可決されましたので、今後、流動的に変化する状況の中でも柔軟に対処できることとなりました。

ご協力、ありがとうございました。

今後の動きについては、政府・自治体、全弓連の動きを受けて、支部連絡員への連絡、県連HPへの掲載、奈弓連だよりへの掲載などを通じて別途案内いたします。

(総務部 藤岡順)

現在、中止が決定している行事

5月末日までの全行事と9月末日までの中央・連合・地連審査会及び中央競技会

<中止となる競技会>

- 6/6~7 関西学生弓道選手権大会
- 6/12~14 全日本勤労者弓道選手権大会
- 6/20・21 全国大学弓道選抜大会
- 8/2 近畿中学生弓道大会
- 8/6~8 全日本教職員弓道選手権大会
- 8/15・16 全国中学生弓道大会
- 8/21~24 全国高等学校総合体育大会弓道競技大会
- 9/18~22 全日本弓道選手権大会(9月の開催は中止)

今後の行事等について

今年度の事業がまだ始まっていないところで新型コロナウイルス問題が起こり、その感染の状況変化を受けて、全弓連や県スポーツ協会からその都度活動変更の指示が出ました。事業計画や予算計画の見直しを余儀なくされました。

5月14日に39県の緊急事態宣言が解除され、これに伴い、自治体の施設利用制限が解除される場所があります。さらに必要な行事の組み換え等について、県連など各団体において再検討をしております。詳細はHP等でお知らせします。そろそろ計画通りの動きをしたいものです。

また、活動再開時の留意点について、医・科学委員の藤本先生にアドバイスをいただいています。皆さまにお知らせできるように現在県連にて作成中です。

(事務局) 5/17

私たちにできること

練習ができなくて残念な思いや、試合があるのか中止なのか、わからない不安な日々。素引きやゴム弓などで過ごしている方も多いと思います。6月1日から利用できる施設がありますが、3密に注意し第2波を起さないよう各自の注意が必要になります。

会長はじめ役員の方々のご尽力に深く感謝いたします。

(編集担当)

奈良県の支部、団体紹介

今までの歩み、今この時期にどう過ごしているのか。
まずは奈良支部がトップバッター、そして新支部の紹介です。

奈良市弓道場と奈良市弓道協会の歩みと今

奈良市弓道協会 深田紀美子

奈良市弓道場は、昭和 47 年に弓道場建設の嘆願書が提出されたことから始まり、昭和 53 年に竣工されました。その後弓道教室の開催等の活動を始めました。

昭和 58 年に奈良市弓道協会を設立し、奈良市体育協会の加盟団体、奈良県弓道連盟の支部組織としての形を整えました。(会員数 49 名)

また、平成 7 年には、奈良市により巻藁場・更衣室・矢取り道を増築していただき、より使いやすい弓道場となりました。

平成 6 年頃からは会員数が 100 名を越え始め、多い時で 200 名を越える時もありましたが、現在では 150 名程度です。平成 23 年からは、中高生弓道教室を開催し、若者の育成にも力を入れています。

令和 2 年の今、3 月の間は、弓道教室は中止、団体使用可能日だけは何とか使用することができていました。しかし、奈良市から 4 月 11 日～5 月 6 日まで体育施設を休館すると通知があり、ならでん弓道場(奈良市弓道場)も使用ができなくなりました。今は休館期間が 5 月末までに延びています。さらに延びるかもしれません。すでに弓道教室は、6 月末までの中止が決まっています。

そんな中ですが、メンテナンスも必要かと少人数での作業：側溝の掃除(土揚げ)、矢道の芝の植え付け、塚の整備、樋の掃除、ストーブの片付け(灯油の始末)などを何日かに分けて行いました。

今は、鹿さんたちが遊びに来ているようです。その証拠に●●の落とし物がいっぱい。



整備された
塚付近

連日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いろいろな手段がとられていることが報じられています。あらゆる場面で働いてくださっている方々に感謝し、私たちにできる範囲で協力をしていきたいと思っています。

一日も早く、みんなで元気に弓が引けるようになることを祈り、自粛頑張りましょう。(5/3 寄稿)



4 月 桜が綺麗に咲いていた頃

新支部発足のお知らせ 練弓会支部 白井礼子

この度県弓道教室は、練弓会支部として発足しましたことをご報告いたします。

県連の皆様方には、15 年間支えて頂きまして心より御礼申し上げます。

開設当初より竹村先生、新司先生にご指導をいただいて参りましたが、4 月をもちまして新司先生がご勇退されました。長い間誠にありがとうございました。これからも新司先生の、温かく時には厳しいご指導を忘れずに稽古を続けてまいります。

今後、練弓会は竹村先生を中心に、余暇の有効活用や生涯教育の一環として、弓道を通し武道精神の習得を行い、潤いのある社会生活を築くこと、弓道を自己研鑽の糧とし、弓道を通じ自らの錬成することを目的として、修練に励みます。

練習日は、弓道教室の時と同じ毎週金曜日の午前中です。弓道経験のある方も、初めて弓道を学びたいという方も募集しております。

練弓会は、県連主催行事への積極的な参加で県連の皆様方との交流を図ってまいりたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

今は新型コロナウイルス感染症対策で稽古ができませんが、閉鎖する前に竹村先生が、「素引きをするように」とおっしゃられ、会員各自が再開に備えております。

一日も早く弓道場が再開され、皆さんが笑顔で集いあえる事を願うばかりです。(5/11 寄稿)

歳時記

「六月」 梅雨

六月は梅雨の季節です。立春より百三十五日目が入梅の日になります。

この日からおよそ三十日ぐらいの間は、農作物にとってたいへん大切な雨の贈り物があります。梅雨の梅は黴菌※の黴に通じ、黴の雨をいいます。また今日では六月は更衣の季節で、学生や警察官などの服装が夏姿となります。

この六月は田植えの時期に当たります。伊勢神宮でも御田植行事がとり行われますし、住吉神社の御田植式も著名です。かつて、田植えにつきものであったのが蓑(みの)です。藁(わら)や茅(かや)やシュウロあるいは、菅笠の菅(すげ)などで製作しますが、背に当る部分に民芸品の味があります。外側は雨しずくをさばくため、編みっぱなしにしてありますが、地方地方で色々な趣きがあって、精巧な物もみられます。

また傘は、雨傘のほかに、茶の野点、僧侶の道中などに長柄の大傘や端折傘(つまおりがさ){骨の先を曲げてあるもので、羅紗の袋などにおさめて持たせる}など、行事を彩るものがみられます。

赤い毛氈に赤の長柄の大傘などは、雨より日除け用の傘ですが、何とも風情のある日本の味となっています。蛇の目傘、唐傘などは現



在こうもり傘に追われた形になっていますが、旅先の旅館などで時々見かけますが、なつかしくもあり、風情があります。傘は柄のついたものを云い、笠は頭にかぶるものを指します。雨の日の混んだ電車の中などでは、濡れた傘の扱いに気を付けましょう。車内に限らず人に濡れた面が触れないように注意し、傘のしずくや、傘どうしのぶつかりに、気を配りましょう。

「小笠原流マナー」著者小笠原清信グラフ社発行より
中埜狛大学藤原孝澄(中埜広樹)

(2008年5月号に掲載された記事を再掲)

※黴菌 ばいきん

黴雨 梅雨 ばいう 梅の実の熟する頃に降る雨の意。また、この時期に黴(かび)が生じやすいことから黴雨の意ともいう

(webllio 辞書より)

量る、測る、計る?



使用している矢のことを存じますか?

重さ、長さをはかってみましょう。

重さが違うと矢飛びにも関係します。

安定した的中のためにも重さを知っておくこと、矢の重さを揃えておくことは大切です。

竹矢は特に1本ずつ重さが違っていることがあります。

矢に番号や印をつけて判別できるようにするのもよいでしょう。

矢の重さ

1 () g 、 2 () g
3 () g 、 4 () g
5 () g 、 6 () g

矢の長さは何センチですか?

矢束は何センチかすぐ答えられますか?

新しい矢を購入したり、人から譲りうけたり。

覚えておくといいですね。

矢束 自分の引くべき矢の長さ

(およそ首の中心から左手の中指の先まで)

() cm

矢尺 矢束+※3~6 cm () cm

※初心者は引き込みやすいので+10 cmほど

(編集担当 松澤和実)

編 | 集 | 後 | 記

新緑がまぶしく気持ちの良い季節となりましたが、道場が使えなくなって一か月以上が経ちました。休館中の道場の様子が気になっていました所、今回の深田先生の文中に整備のことがありました。おそらくどの支部でも同じように道場の維持をされている方がおられると思います。作業をしてくださっている方々に感謝申し上げます。

編集担当 山本悦子